

グローバル化時代の ものづくり技術者像

参加者募集

【プログラムの目的】

産業経済社会は今ものづくりにおいて、さらにグローバルに通用する製品と技術の発信、そして海外企業との連携が求められています。このような中、高いものづくり技術をもつ企業の多い広島で、あらたな海外事業に取り組むことができる人材の育成は急務です。本講義では、多様化するグローバル産業経済社会に適応するため、海外実務経験者との討論を交えながら、グローバル人材としての素養を修得するとともに、海外事業展開を活発に行っている広島の「ものづくり」を中心とした現場で活躍できる力を修得します。

●実施日時／平成26年 9月27日(土)、10月11日(土)・25日(土)、
11月8日(土)・22日(土)、12月13日(土)
平成27年 1月10日(土)・24日(土)
13:00～16:10 ※平成26年10月25日(土)14:40～17:50
※平成27年 1月24日(土)14:40～16:10

●実施場所／サテライトキャンパスひろしま(広島市中区大手町1丁目5-3)

●募集対象／大学3年次生以上、大学院生及び現役社会人

●募集人数／40人程度

●応募方法／〈大学3年次生以上〉
教育ネットワーク中国の出願票(単位互換履修用)にて、所属大学を通じてお申込みください。科目名は、「学外研修(グローバル化時代のものづくり技術者像)」です。
〈大学院生・現役社会人〉
本プログラムのホームページ掲載の出願票に必要事項を記入のうえ、E-mailにてお申込みください。
〈URL〉<http://www.it-hiroshima.ac.jp/lecture/global/>

●受講料／無 料

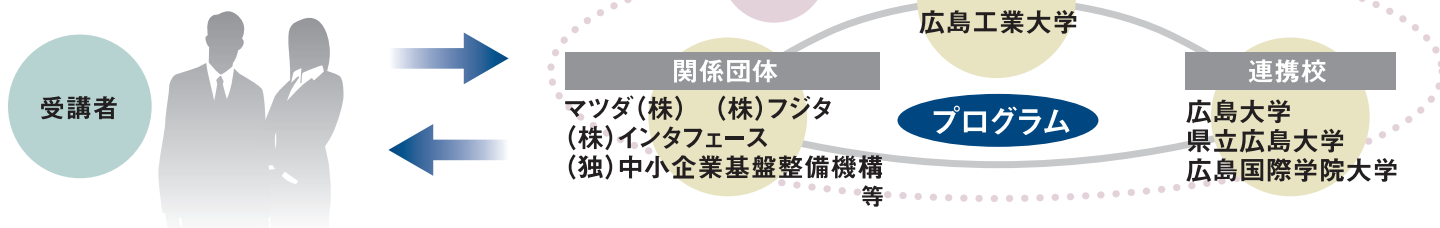
●募集期限／大学3年次生以上:7月31日(木)
大学院生・現役社会人:9月10日(水)

●受講要件／原則として、全ての講義(15回)に出席できる方

●修了証／所定の課程を修了し、一定の評価を得た者には、修了証を交付します。
(教育ネットワーク中国の単位互換履修生は除く。)

実施体制

広島県の大学、企業等が一体となって
充実したプログラムを実施します。



「グローバル化時代のものづくり技術者像」

区分	内容	講師	日時
ガイダンス	第1回 ガイダンス 本講義の目的および目標を確認する。また、グローバル化時代を概観するとともに海外事業に関わる社会人として求められる技術者像の概要を理解する。	濱崎 利彦 (広島工業大学)	平成26年9月27日(土) 13:00~14:30
異文化コミュニケーション	第2回 異文化コミュニケーション全般 日本の技術者が、異文化を持つ技術者とコミュニケーションを図る上で知っておくべきことを全般的に学ぶ。	上水流 久彦 (県立広島大学)	平成26年9月27日(土) 14:40~16:10
	第3回 英語圏における異文化コミュニケーション 日本の技術者が、異文化、特に、英語圏文化を持つ技術者とコミュニケーションを図る上で知っておくべき文化や習慣、また、特別な言語表現などの素養を学ぶ。	三熊 祥文 (広島工業大学)	平成26年10月11日(土) 13:00~14:30
	第4回 中国語圏における異文化コミュニケーション 日本の技術者が、異文化、特に、中国語圏文化を持つ技術者とコミュニケーションを図る上で知っておくべき文化や習慣、また、特別な言語表現などの素養を学ぶ。	桂 弘 (広島工業大学)	平成26年10月11日(土) 14:40~16:10
海外ものづくり事情	第5回 ものづくりにおける海外事業展開と技術移転 ものづくりにおける海外事業展開と技術移転について、歴史的背景、現状と今後の動向など実例を挙げながらその考え方と知識を学ぶ。	高田 忠彦 (広島大学)	平成26年10月25日(土) 14:40~16:10
	第6回 海外ものづくり事情(自動車分野) 自動車分野における海外での事業展開を念頭におき、ものづくりをベースにしながら、海外での勤務や現地の技術者との協同作業に必要な知識を学ぶ。	高橋 雅通 (マツダ株式会社)	平成26年10月25日(土) 16:20~17:50
	第7回 海外ものづくり事情(マルチメディア機器開発分野) マルチメディア機器事業の海外展開を念頭におき、ものづくりをベースにした製品開発をすすめる上で、海外企業との連携や技術者との協同作業に必要な知識を学ぶ。	濱崎 利彦 (広島工業大学)	平成26年11月8日(土) 13:00~14:30
	第8回 海外ものづくり事情(マルチメディア機器商品企画・戦略分野) マルチメディア機器事業の海外展開を念頭におき、グローバルと地域の両視点から商品企画をすすめる上で、海外商社との連携やカスタマとの関係構築に必要な知識を学ぶ。	杉木 雄三 (ｸﾞﾙｰﾌﾟM7経営コンサルティング)	平成26年11月8日(土) 14:40~16:10
	第9回 海外ものづくり事情(経営分野) MOT(Management of Technology)の観点から日本企業の海外での事業展開を念頭におき、オープン・イノベーション(Open Innovation)の進展による海外の技術者との協同作業について必要な知識を学ぶ。	朴 唯新 (県立広島大学)	平成26年11月22日(土) 13:00~14:30
	第10回 海外ものづくり事情(建設分野) 建設分野における海外での事業展開を念頭におき、ものづくりをベースにしながら、海外での勤務や現地の技術者との協同作業に必要な知識を学ぶ。	向井 正紀 (株式会社フジタ)	平成26年11月22日(土) 14:40~16:10
	第11回 海外ものづくり事情(応用科学分野) ものづくりのベースとなる基礎学力への取り組みに関して、海外、特に、アメリカの例を挙げ、教える側と教わる側それぞれの立場でその違いについて学ぶ。	松尾 邦昭 (広島国際学院大学)	平成26年12月13日(土) 13:00~14:30
	第12回 海外ものづくり事情(コンピュータシステム分野) コンピュータシステム分野における海外での事業展開を念頭におき、ものづくりをベースにしながら、海外での勤務や現地の技術者との協同作業に必要な知識を学ぶ。	鈴木 誠 (株式会社インタフェース)	平成26年12月13日(土) 14:40~16:10
	第13回 ものづくりにおける海外事業展開 海外での事業展開を念頭におき、ものづくり技術者が海外事業展開で注意する点、また、知っておくべき知識などの全般について学ぶ。	深田 進 (中小企業基盤整備機構)	平成27年1月10日(土) 13:00~14:30
海外文化事情	第14回 海外文化事情 文化の違いなどを、留学生を交えて討論や体験的な演習を行いながら理解する。たとえば、留学生から見た自国と日本の違いなどのテーマをもとに、それぞれの文化を理解するとともに、日本の文化についても再認識する。	長坂 康史 (広島工業大学)	平成27年1月10日(土) 14:40~16:10
まとめ	第15回 まとめ グローバル化時代のものづくり技術者像をまとめる。	長坂 康史 (広島工業大学)	平成27年1月24日(土) 14:40~16:10

講義終了後の海外現地研修(希望者のみ)

海外現地研修	中国あるいは東南アジアで事業展開をしている地元広島の企業を訪問し、意見交換及び作業体験などを行う。(※海外現地研修に係る渡航費等については、半額程度の自己負担が生じます。)	中国あるいは 東南アジアを予定	平成27年3月頃を予定 (1週間程度)
--------	--	--------------------	------------------------